

海自厚木基地で「総合的な学習の時間」

神奈川地方協力本部平塚地域事務所
(所長 平2陸尉) は、11月26日
(水)、平塚市立大野中学校(生徒11
名、教諭1名)の「総合的な学習の時
間」を支援した。

学習では、厚木基地の概要説明を受
けた後、管制塔やP-3Cを含む航空
機と広報センターの見学を行った。体
験喫食の後、午後の研修では航空機の
整備の様子を見学し、最後に第4航空
群司令との懇談を行った。帰りの車中
で生徒たちから、「自衛官の制服姿が
とても凛々しく、あこがれの職業とな
りました」、「有意義な一日を過ごす
ことができました」という感想が聞かれ
た。また、同行した教諭から「是非、
学校でも自衛隊の説明や講話をして頂
きたい。多くの生徒達に聞かせたい」
という申し出も聞かれた。

平塚地域事務所は、「今後も、総合
的な学習の時間を支援し、その中から
一人でも多く自衛官を志願してくれる
ことを期待したい」としている。

山北町議会議員 部隊研修支援

神奈川地方協力本部小田原地域事務所
(所長 林1陸尉) は、11月28日
(金)、山北町議会議員(13名)の駒門
駐屯地部隊研修を支援した。

研修の担当に当たったのは、災害時に
山北町を担当する第1高射特科大隊第2
中隊で、中隊長による防災講話、施設研
修、体験喫食及び装備品展示が行われた。
防災講話では、「孤立した場合、救助に
あたるへりには何人乗れるのか」など、
具体的な質問が多く寄せられるとともに、
「実際に災害派遣の時に駆けつけて頂け
る部隊長から、防災に関するお話を聞く
ことができたのは大変有意義であった」
と述べられた。

小田原地域事務所は、「今後も、行政
の方々に対し、自衛隊に対する理解を
促進していく」としている。



中隊長による防災講話



装備品展示

第三術科学校で思わぬ再会

神奈川地方協力本部相模原地域事務所
(所長 大塚3陸尉)の広報官が海曹上級
課程(江田島)において、第3術科学校
(下総)を研修した際、昨年入隊した隊員
が同校に入校しており、偶然の再会を果
たした。短期間のうちに逞しく成長して
いることが、その隊員の澆刺とした姿か
ら容易に感じられた。同隊員は、熱望し
ていた航空機整備職種を取得後、八戸
航空基地勤務の予定であることを報告し
てくれた。

相模原地域事務所は、「入隊者が元気に
勤務している姿を励みに、日々の募集業
務に精進していく」としている。



海上自衛隊第三術科学校(下総航空基地)